

私たちは、アサーティブジャパンを推薦します

コンプライアンス経営とアサーティブ



山内明子

生活協同組合 コープみらい

執行役員(コミュニケーション・CSR推進担当)

伝える力とコンプライアンス

21世紀に入り、企業にとってコンプライアンス経営は、その事業経営にとってあたりまえのこととなりました。しかし、実際には不祥事は絶えず、企業姿勢が問われる事件が続いています。

コンプライアンス経営の実現に向けてトップの責任が最重要であるのは言うに及びませんが、企業・組織を構成する従業員・職員ひとりひとりに期待される役割も大きくなっています。つまり、現場で仕事を進める各人が、異常やミスを発見しそれをきちんと表明できること、周囲の状況にふりまわされずはっきりと伝える力をもっていることが、法令遵守の基本として必要になるわけです。

アサーティブトレーニングで風通しのよい組織に

アサーティブトレーニングでは、相手も自分も尊重したコミュニケーションの方法を学びますが、あわせて、自分と相手の立場を考えながら自己信頼感、自己肯定感をどう築くかについても常に意識して学べるような内容となっています。自己を信頼できる個人が、みずからの意見や要求をきちんと伝え、できないことにははっきりと「ノー」と言えるような職場であれば、率直なコミュニケーションが土台となった風通しのいい組織文化があるといえるでしょう。こういった環境があれば、タイミングよく「報告・連絡・相談」ができ、また、「何かおかしいぞ」と問題やミス

に気付いてそれを組織内で共有することができます。つまり、問題の早期発見と早期解決につながるといえます。

アサーティブトレーニングは、お客様や社会に信頼されるコンプライアンス経営をめざす企業にとって、風通しのよい組織の基礎をつくる「個人」を育てはげますことに役立つと考えます。

トレーニングは約20人の規模で行います。二人または三人一組でロールプレイをしたり、一人で自分の行動のくせをふりかえったり。語り、考え、身体を動かし、座学では味わえない肉体の疲れと心地よいコミュニケーションを経験できます。